

日本リハビリテーション医学会研修施設における療法士数の実態調査

日本リハビリテーション医学会社会保険等委員会

担当理事 石川 誠, 水落 和也

委員長 川手 信行

委員 赤澤 啓史, 赤星 和人, 岩田 学, 大塚 健一

木村 浩彰, 小山 照幸, 近藤 国嗣, 菅原 英和

杉原 勝宣, 田中宏太佳

急性期リハビリテーション実態調査ワーキンググループ

小山 照幸 (報告担当), 八木麻衣子, 藤谷 順子, 藤本 雅史

(委員会名簿は調査時に基づく)

1. はじめに

平成 24 年度診療報酬改定は介護保険と同時改定となり、「早期リハビリテーション (以下, リハ) の充実」と「維持期リハでの医療・介護の円滑な連携の推進」というテーマが掲げられた。急性期リハでは「早期リハ加算」が見直されて 45 点から 30 点に減点されたが, 14 日までは「早期リハ加算」に加えて「初期加算」45 点为新設された。回復期リハは「回復期リハ病棟入院料」の見直しがされ, 外来では「外来リハ診療料」が新設された。しかし, 急性期のリハにおいては, 「初期加算」が新設されたものの, 実際には算定を行えているのはかなり少ないのではないかと思われる。急性期リハを充実させるためには療法士を増員しなくては実現されない。そこで, リハ科専門医が所属する「研修施設」における療法士の人数と, 対応患者数について調査したので報告する。

2. 対象と方法

対象: 2012 年 12 月 31 日までに日本リハ医学会「研修施設」として登録された 538 施設とした。

方法:

①病院機能別検討

登録された施設情報から, 病院機能別に下記のように 4 群に分けた。

急性期病院: 急性期機能を有する病院

急性期+回復期病院: 急性期機能と回復期機能を有する病院

回復期病院: 回復期機能を有する病院

一般・療養病院: 一般・療養機能を有する病院

そして月次リハ診療患者数, 100 床あたりの PT, OT, ST 数, 各療法士 1 人当たりの月次リハ診療患者数を比較した。

②急性期病院における経営母体別検討

上記急性期病院を DPC 群別に 4 群に分け, 月次リハ診療患者数, 100 床あたりの PT, OT, ST 数, 各療法士 1 人当たりの月次リハ診療患者数を比較した。

③急性期病院における DPC 群別検討

上記急性期病院を DPC 群別に 4 群に分け, 月次リハ診療患者数, 100 床あたりの PT, OT, ST 数, 各療法士 1 人当たりの月次リハ診療患者数を比較した。

いずれも統計学的分析には Kruskal-Wallis 検定を用いた。統計ソフトは SPSS ver 12.0 を用い, 有意水準は 5%未満とした。

3. 結果

①病院機能別検討 (表 1)

急性期機能を有する医療機関においては, 他の病院機能を有する病院群と比較して, 病床数に対する療法士数が少なく, 療法士 1 人当たりのリハ診療患者数が非常に多かった。

②急性期病院における経営母体別検討 (表 2)

100 床当たりの療法士数は少なく, 国立大学病院法人と公立大学病院法人が一番少なく, 国立・独立行政法人, 私立大学病院, 自治体・地方独立行政法人, 民

表1 病院機能別検討

n	急性期病院群 205	急性期+回復期病院群 83	回復期病院群 182	一般・療養病院群 66	Kruskal-Wallis検定
病床数	630.4±285.1 (50-1494)	318.3±192.0 (48-1082)	193.3±124.4 (12-1098)	205.6±163.2 (15-866)	
月次あたり リハ診療患者数	1596.9±1850.1	1064.1±1813.9	908.0±1891.5	1128.6±1287.8	<0.01
100床当り常勤PT数	2.8±2.8	11.3±6.3	19.9±12.2	9.8±12.9	<0.01
100床当り常勤OT数	1.3±1.7	7.1±5.8	13.9±9.2	6.5±6.8	<0.01
100床当り常勤ST数	0.6±0.7	2.6±2.2	5.5±5.1	2.9±3.7	<0.01
各療法士1人当り 月次リハ診療患者数	80.9±91.1	27.5±51.0	18.0±30.2	61.1±73.5	<0.01

表2 急性期病院における経営母体別検討

n	急性期全体 205	国立大学病院 36	公立大学病院 10	私立大学病院 39	国立・独立 行政法人 8	自治体・地方 独立行政法人 34	民間病院 (急性期機能のみ) 78	Kruskal-Wallis検定						
病床数	635.2±284.8	764.9±184.7	827.9±142.3	839.8±319.7	554.5±236.9	533.6±214.1	500.8±253.8	<0.01						
リハ診療患者数	1596.9±1850.1	1376.3±1522.4	2359.1±2245.5	1760.1±1937.9	641.3±560.1	1123.7±1686.3	1823.8±1991.9	0.273						
100床当りPT数	2.8±2.8	1.4±0.5	1.4±0.4	2.1±1.5	1.9±0.8	2.3±2.1	4.4±3.7	<0.01						
100床当りOT数	1.3±1.7	0.6±0.3	0.6±0.4	1.0±0.9	0.8±0.4	1.1±1.3	2.1±2.4	<0.01						
100床当りST数	0.6±0.7	0.3±0.1	0.2±0.1	0.5±0.5	0.4±0.3	0.5±0.5	0.8±0.9	<0.01						
各療法士1人当り 月次リハ診療患者数	80.8±91.1	85.4±97.9	127.7±114.7	72.7±75.3	43.9±42.9	77.3±108.5	81.9±87.2	0.666						
脳血管Ⅰ(%)	185	90.2	34	94.4	10	100.0	34	87.2	5	62.5	28	82.4	74	94.9
脳血管Ⅱ	20	9.8	2	5.6	0	0.0	5	12.8	3	37.5	6	17.6	4	5.1
運動器Ⅰ	204	99.5	35	97.2	10	100.0	39	100.0	8	100.0	34	100.0	78	100.0
運動器Ⅱ	1	0.5	1	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
心大血管Ⅰ	106	51.7	24	66.7	6	60.0	26	66.7	4	50.0	12	35.3	34	43.6
心大血管Ⅱ	8	3.9	4	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	5.1
呼吸器Ⅰ	192	93.7	34	94.4	10	100.0	39	100.0	7	87.5	30	88.2	72	92.3
呼吸器Ⅱ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

間病院の順に多くなっていた。疾患別リハ料の施設届出状況は、脳血管疾患等リハ、運動器リハ、呼吸器リハはほとんど届出していたが、心大血管疾患リハは急性期全体で55.6%の取得率であった。

③急性期病院におけるDPC群別検討(表3)

100床当たりの療法士数は少なく、Ⅰ群、Ⅱ群、Ⅲ群、DPCなしの順に療法士は多かった。疾患別リハ料の施設届出状況は、脳血管疾患等リハ、運動器リハ、呼吸器リハはほぼ届出していたが、心大血管疾患リハは急性期全体で55.6%の取得率で、DPC群別では、Ⅰ群、Ⅱ群、Ⅲ群、なしの順に取得率が低下していた。

4. まとめ

リハ科専門医の在籍する日本リハ医学会「研修施設」の急性期病院においても療法士の人数は少なかった。リハ科専門医のいない急性期病院ではさらに療法士数が少なかったり、早期リハが行われていなかったりということが考えられる。急性期の早期リハを充実させるためには、療法士を増員させる必要があると思われる。疾患別の施設届出状況を見ると、脳血管疾患等リハ、運動器リハ、呼吸器リハはほとんど届出されていたが、心大血管疾患リハは少なく、疾患別に偏りがみられた。

表3 急性期病院におけるDPC群別検討

n	急性期全体 205		DPC I 群 69		DPC II 群 22		DPC III 群 93		DPCなし 21		Kruskal- Wallis検定
病床数	635.2±284.8		866.8±221.1		706.6±172.4		514.4±217.4		334.2±242.9		<0.01
リハ診療患者数	1596.9±1850.1		1765.4±1884.2		1813.5±1927.8		1480.1±1964.7		1334±1631.6		0.309
100床当たりPT数	2.8±2.8		1.5±0.6		2.3±0.9		3.2±2.7		6.1±5.2		<0.01
100床当たりOT数	1.3±1.7		0.6±0.3		1.1±0.5		1.5±1.6		3.1±3.6		<0.01
100床当たりST数	0.6±0.7		0.3±0.2		0.5±0.3		0.7±0.7		1.2±1.2		<0.01
各療法士1人当たり 月次リハ診療患者数	80.8±91.1		89.7±92.4		68.8±69.7		78.9±96.3		72.1±85.1		0.403
脳血管 I (%)	185	90.2	64	92.8	22	100.0	83	89.2	16	76.2	
脳血管 II	20	9.8	5	7.2	0	0.0	10	10.8	5	23.8	
運動器 I	204	99.5	68	98.6	22	100.0	93	100.0	21	100.0	
運動器 II	1	0.5	1	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
心大血管 I	106	51.7	47	68.1	13	59.1	38	40.9	8	38.1	
心大血管 II	8	3.9	4	5.8	0	0.0	4	4.3	0	0.0	
呼吸器 I	192	93.7	66	95.7	22	100.0	85	91.4	19	90.5	
呼吸器 II	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	